ICT学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名 県立黒石養護 学校
		□国語 □社会 □算数・数学 □理科 □外国語・外国語活動 □生活 □音楽
授業について	教科領域名	□図画工作・美術 □体育・保健体育 □技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業
	(✔又は■で	□特別の教科 道徳 ■総合的な学習(探究)の時間 □日常生活の指導
	記入する。)	□生活単元学習 □作業学習 □遊びの指導 □特別活動 □自立活動
		□その他(
	単元(題材)名	ALTとの交流学習
	単元(題材)の目標	ALTと一緒に書きたい文字とその理由を発表できる。
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学 部 全 年 9 人
	本単元(題材)にお	・手書きが苦手な生徒やキー入力が苦手な生徒が混在しているため、全体に表示する発
	 ける学習集団の	表資料を作る際に、時間がかかり、抵抗感がある。
	主な実態	
ICT活用について	使用した支援機	iPad
	器・教材の名称	Ti du
	45 45 10 0 0 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	GOOD NOTES5
	使用したアプリケ	COOD NOTES
	ーションの名称	
		(複数選択可能) : : : : : : : : : : : : : : : : : : :
	主な活用の用途	□コミュニケーション支援 (■情意思伝達支援 □遠隔コミュニケーション支援)
	(✓ 又は ■ で	□活動支援 (□情報入手支援 □機器操作支援 □時間支援)
	記入する。)	■学習支援 (■教科学習支援 □認知発達支援 □社会生活支援)
		□実態把握支援
	ICT活用の	・ノートのページに文章や絵、PDFを貼り付けて発表資料を作る力を身に付ける。
	ねらい	
活用の状況と支援		│ ・手書きやテキスト入力など入力方法が複数あり、生徒が自分に合わせて、選ぶことが
		できたため、負担感なく発表資料を作ることができた。
	 活用の状況と支援	 ・発表資料を作る際の入力を負担なく行うことができる方法について、生徒それぞれに
	1日/11*/4八/1/16	入力方法を体験する機会を設定した後に決定した。
1/2		